

# 環境を考え行動する会「ダンボールコンポストで生ごみリサイクル」5年間のあゆみ



少しでもよりよい環境を次世代に残せたらと、できることから行動しようと活動中。

## 【会の発足】

- 2007/8 「環境を考え行動する会」8人で設立・会場はさつき台自治会館・「豪快な号外」約20,000部配布、上映会(32名)、署名(525筆)他
- 2008/6/25 田中優講演会(麻生市民館大ホールで参加者215名)
  - ・大ホールロビーで腐葉土と鶏糞のダンボールコンポストを展示：←きっかけ

## 【スタート】

- 2008/7 News23で放映の「生ごみが消える不思議なダンボール」視聴
- ・循環生活研究所方式のダンボールコンポストに出会い全てがここから始まる
- 2008/9 中野コンポスト連絡会・貞弘優子さんを講師に我々が学ぶ講座(11名)
- 2008/12/1 ダンボールコンポスト講習会 講師：たいら・波多野さん(40名)
- 2009/2 たいらさんを囲んで質問攻めの勉強会(8人)
- 2009/7 福岡でダンボールコンポストアドバイザー養成講座2名受講、同様に2010,11年各1名
- 2013/1 東京で養成講座1名受講、計5名が認定され循環生研との知識&物資連携が進む

実践者数の推移		活動回普及数	
2008年度	152人		
2009年度	533人	37回	656人
2010年度	842人	47回	1172人
2011年度	1102人	54回	874人
2012年度	1258人	54回	1511人
2013/9/25	1354人	23回	577人

## 【キット】

- 2008/10 スターターキット(1600円)を作成し本格普及活動へ⇒基材、カバー等試行錯誤の連続：2009/9今の形2000円に
- ・基材：最初はピートモス(農協⇒王子緑化(株)2009/5 担当者が当会視察⇒2010/4からココピート(王子⇒循環生研)⇒地産地消のコーヒーかす(モスバーガー、はぐるま工房)や2013/6竹パウダー(日野市)も実験中
  - ・くんたん(農協・中国産もみ殻⇒(有)プロス・長野産そば殻)
- ・基材わけ：自分達⇒あすなる第3作業所、ガーデンらららなどやってみて、2009/9しらかし園にお願いする
- ・布カバー：自分達⇒2009/5麻生・環境を考える会と連携しファイバーリサイクルでTシャツの大量仕入れ可能になる
  - ・リサイクル品の洗濯、アイロン、縫製(型紙作成)など 近所の有志の協力により今の形式に

## 【講座／イベント出展／活動紹介】

- 2008/10 小田急さつき台自治会「ごみの勉強会」で生ごみリサイクル方法紹介⇒講座の始まり

さつき台自治会、ネットあさお、大作自治会、高津Weネット、百合丘勸交会、ネット青葉、まんまの会、座間ネット2回講座、中原区環境楽習会、宮前 commons 2回講座、W.Coキャンディ2回講座、綾瀬ネット2回講座、ユープかながわ・あさおエリア会、鷺沼町会役員会、カフェ油揚げ、菅町会婦人部、ユープかながわ幸中原エリア会2回講座、新生きごみ隊、野菜大好きファーム2回講座、2回講座 in 宮前、幸ふるさとづくりの会、2回講座 in 多摩、こすぎクラブ2回講座、川崎区浜町3丁目町会、大作自治会老人会、久地第2町会婦人部、多摩区南三田町会、クローバーの会、久地小学校成人委員会、日吉分館2回講座、さんさん会、幸 commons、高津教会、チーム宿河原、CCかわさき交流コーナー、かふえたまりばー、メサグランデ、有楽自治会、逗子なにかしように2回講座、高津宮前エリア会、CCかわさき夏休み自由研究講座、はるひ野町内会、新百合ヶ丘第5自治会2回講座、幸講座「花も実もエコガーデニング」、なかはら20年構想委員会2回講座、WE21ジャパンあさお、WE21ジャパン高津等(複数回省略)

- 2008/10 麻生区役所前広場のフリーマーケット「あさお市」に出展⇒イベント出展の始まり

あさお市、元気メッセ、幸ネット「ねっと市」、たま楽市、福祉クラブふくしまつり、かわさき生活クラブ環境フェア、高津区役所グリーンカーテンシンポジウム、麻生区地産地消フォーラム、富士通川崎工場春祭り、オルタナ・住まい展、環境デー2010 in なかはら、しらかしフェスタ、花と緑の交流会、エコフェスタ2011、里山フォーラム in 麻生、中原エコカフェ、川崎区エコ暮らしフェスタ、白鳥中祭、みやまえJUN・CANまつり等(複数回省略)

- 2008/12/7 ごみ連フォーラムで当会活動報告⇒活動紹介や原稿依頼や取材(2009/5 神奈川新聞インタビュー)の始まり
- ・2013/6 生ごみリサイクル交流集会 in 多摩 2013 で当会の活動を東京都の多摩地区で発表<市民連携の仲間入り>
- 2009/6/8 神奈川新聞掲載 ⇒県全域から問合せ132件(内実践者100名：キットの配送と問い合わせに忙殺される)

## 【実践者フォロー】

- ・会の登録用紙・やり方と成功のポイント・アンケート用紙をキットに入れる。レスキューにも出動。2か月後に後半の手紙郵送
- メール通信：2008/11に第1号発行、2013/9に第44号を700人に発信
- ・2008/12～実践者55名に電話かけフォロー、2010/1継続性調査(510名)⇒今回2013/9に1300名に継続性調査中
- 相談会：2008/11第1回目をさつき台自治会館、その後天野家車庫で毎週開催⇒隔週になり2012年で終了。

## 【広報：三つ折りチラシ／ホームページ】

- 2009/8 「ダンボールコンポストの生ごみ堆肥で育てています」の花壇プレート15枚作成し、花壇に立ててアピール
- 2009/9に当会ダンボールロゴ(デザイン：松井菜穂)でオリジナル三つ折りチラシ3,000部作成
  - ⇒改訂&増刷2010/11に5,000部、2013/5に4,000部 計12,000部配布中
- 2009/11に名刺(バナナペーパー)、2010/1にA1ポスター作成(株サズが市民活動を応援)
- 2009/10ホームページ開設(作成&運営サポート：Webかわさきとサーバー契約)

**【生ごみ堆肥】**

- 2009/3 有志実験栽培(岡上クラブの畑でジャガイモ、網倉畑で小松菜、家庭菜園等)⇒2011/5 より会として 4 坪畑で実践
- 2009/5 と 2011/2 東京農業大学土壌学研究室に生ごみ堆肥11検体ずつ分析していただく
- 2011/3 と 2012/7 に生ごみ堆肥分析結果勉強会開催:講師・後藤逸男教授(生ごみ堆肥 24 人 22 検体結果のまとめ)
- 2009/6～吹込交差点花壇に生ごみ堆肥投入&プレートを立てる<2011 年からは吹込クローバーの会に移行>
- 2009/10～麻生区役所プランター(麻生区美化ボランティアと連携)に生ごみ堆肥投入&プレートを立てる
- 2009/12 かわさき花と緑の交流会出展を始まりに花と緑関係とも連携(2011/3～麻生区里山フォーラム等)
- 2013 年度～3 年計画の「川崎市と明治大学農学部黒川農場連携事業」: 当会も藤原俊六郎教授に堆肥提供で協力

**【助成金/資金】**

- 「麻生区地域コミュニティづくり活動資金助成事業」:2008/11～2011/3 の 2 年半で 5 万円+10 万円+10 万円いただく
  - 1 期:ダンボールコンポストキットを半額の 800 円補助して 40 個普及。
  - 2 期: 広がるダンボールコンポストの輪⇒三つ折りチラシ、花壇プレート 15 枚作成、講座開催
  - 3 期学校施設で広がるダンボールコンポストの輪⇒吉田俊道講演会開催、小学校、保育園実施サポート等
    - 校長会、園長会&麻生区 16 校直接説明に廻って学校取組の良さをアピールし、応募を促した
- 「全労済地域貢献助成事業」2010/09～2012/7 の 2 年で 30 万円+30 万円いただく
  - 1 期:人材発掘を目的に 7 区全てで 2 回連続講座開催、成分分析、小学校支援等
  - 2 期:生ごみリサイクル相談窓口毎週開設、小学校保育園支援、福岡での交流会参加等
- 2012/4 助成金からの脱却めざし賛助会員制度導入⇒賛助会費 1,000 円/年 を募る

**【川崎市と連携/川崎市生ごみリサイクルリーダー/生ごみリサイクル相談窓口】**

- 2009/1 市長にダンボールコンポストをアピールしたが、まずは自分たちができることから麻生区区民会議 2 期 3 期、ごみ減量市民会議 3 期 4 期、廃棄物減量指導員等参加
- 2009/7 廃棄物政策参事の水原氏が当会基材わけ&相談会に視察
- 2009/9 かわさきコンパクト<地球環境推進室>に参加し企業連携を模索(未だ解なし)
- 他市の状況を視察研究(2009/10 葉山町、2010/6 あきる野市、2013/3 日野市)

**<生ごみリサイクルリーダーの実績>**

回数と対応数(ロー相談会回数)	
2008 年度	記録なし
2009 年度	4 回人数記録無(2)
2010 年度	30 回 433 人(5)
2011 年度	29 回 672 人(8)
2012 年度	32 回 492 人(8)
2013/9/25	昨年同様に進行中

- 2009/10 川崎市生ごみリサイクルリーダー 6 名認定、2013 年に 1 名認定
- 2009/10 に区役所ロー相談会を提案し麻生区と高津区で実現、翌年から全区で実施
- 2010/2 川崎市生ごみリサイクル講習会の手法がダンボールコンポストになり講師は福岡からたいら氏<キット 45 個無料配布>
- 2013/8 川崎市発行の小冊子「チャレンジ生ごみダイエット」が改訂発行され、循生研方式のダンボールコンポスト掲載
- 2011/4 川崎市地球温暖化防止活動推進センター OPEN⇒メンバー 8 人が川崎市地球温暖化防止活動推進員に委嘱
- 2011/5～同センターの作業ブースに【生ごみリサイクル相談窓口】を開設 毎週水曜 1 時～5 時
- 2012/2 「低 CO<sub>2</sub>川崎パイロットプラント'11」で市民活動部門の奨励賞で市長より賞状
- 2012/4～温暖化防止活動推進センターの活動プロジェクトとして開設し費用援助を受ける(約 12 万円/年)
  - 天野車庫での相談会はやめてここに 1 本化<目標は行政による相談窓口常設>
- 2012/10 川崎市リサイクルエコショップに当会が認定される

**【小学校、保育園、子供たちに】**

- 2010/8 生ごみ先生・吉田俊道氏講演会「いのち輝く元気野菜のひみつ」開催(参加 141 名)し、子どもたちへの普及
- 2010/6～小学生のダンボールコンポストによる家庭の生ごみ堆肥化 2 か月間実施をサポート
- 2011/1～すぎのご福祉会すぎのご保育園、川崎市立高石保育園で木枠コンポストによる給食残渣の堆肥化取組サポート
  - 2012/4～川崎市立ごうじ保育園(中原区)
- 2012/7～夏休み自由研究親子講座開催
- 2013/8 麻生市民館調理室でのエコクッキング講座協力

**<小学校取組をサポート>**

2010 年度	横浜市立あざみ野第二小学校 4 年 90 人
2011 年度	同上校 100 人、川崎市立虹ヶ丘小学校 4 年 24 人
2012 年度	川崎市立百合丘小 5 年 90 人、藤崎小 5 年 115 人 森村学園 5 年 40 人
2013 年度	川崎市立御幸小 5 年 予定

**【取扱所/現在 22 か所】**

- 2012/3 せともの雑貨店 MARUKO が申し出て、ナツチュ、花ハウス、オルタスクエアなど複数店舗と個人宅の協力でダンボールコンポストキット取扱一覧の形になって川崎市講座でも配布でき、身近な所で手に入る

**【ダンボールコンポストネットワークの一員として他市の普及活動をサポート】**

- 2011～八王子市の講座やイベント出展多数応援に(2013/5～9 は八王子市立式分方小学校の取組をサポート)
- 2012/9 龍ヶ崎市講座、2012/12 東京ビックサイト・環境エコログラフ展、2013/5 昭島市講座を応援
- 2010/1 と 2012/1 福岡での DC アドバイザー交流会に 2 名ずつ参加し、日本中の普及活動団体と情報共有する

